



四国最南端 今昔物語の妹兄伝説の残る山

いもせやま

妹背山 404m

- 距離：約4km（登山口～山頂～弘瀬港）
- 歩行時間：約2時間（登山口～山頂～弘瀬港）



※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

四国百名山のひとつであり、妹背山の名の由来は、今昔物語に登場する妹兄島の伝説（両親の農作業中、小舟に残された兄妹が流されて漂着した島）の舞台がこの島であったことといわれている。また、鎌倉時代に三浦半島から政権争いに巻き込まれて西へ落ち延びて来た三浦一族が、松山あたりから船でこの島に移り住んだと伝えられており、山中には三浦家の墓が現存している。

山頂からは、お姫様の寝姿をした無人島「姫島」が見え、条件が良ければ遠く九州を望むこともできる。

*登山道：

- ・山頂までは登山道が整備されており、山頂には展望台もある。標識あり。

*注意点／アドバイス：

- ・山沿いに公衆トイレなし。港、山頂に設置。
- ・母島（もしま）港から登山し、弘瀬港へ下山することも可能（妹背山の違った風景を目にすることができる）。

*登山口までのアクセス：

- ・母島港から徒歩40分。

*周辺情報：

- ・「山伏神社のすだじい」は宿毛市天然記念物に指定。
- ・妹背山山頂から少し弘瀬側に下った登山道脇に、120体の石仏がたたずむ「仏が丘」がある。
- ・島内宿泊可能（旅館「おきのしま」、「望洋館澤近」、「民宿黒潮」）。
- ・島内に売店あり（弘瀬の市原商店）。

■島のプロフィール

石段と石垣の島。土佐・宇和島が領有を争い、1874年高知県に。キビナゴが有名。ダイビングや釣り客が訪れる。

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。